

**1. 単元名 場面の様子をそうぞうしながら読もう ～ちいちゃんのかげおくり(光村3年下)～****2. 目 標**

- ・場面の移り変わりや情景を想像しながら読み、登場人物の心情や場面の様子について、進んで発表したり音読したりしようとする。(国語への関心・意欲・態度)
- ・叙述に即して、場面の移り変わりや情景、登場人物の心情について想像しながら読む。(読むこと)
- ・様子や心情を表す語句に注意して読み、語句の場面に応じた働きを理解することができる。(言語についての知識・理解・技能)

**3. 学習を進めるにあたって****○教材について**

本教材は、三年生にとって初めての戦争を題材にした文学作品である。この物語は、家族や幼い命、未来や夢をも容赦なく奪っていく戦争の悲劇・悲惨さや平和を守る大切さを幼いちいちゃんの生涯を通して描き出している。

戦争が現実的ではなくテレビのニュースやゲームの中だけに存在する現代の児童にとって、戦争が起こる時代背景や当時の生活の様子を理解することは困難が予想される。しかし、本教材は場面の移り変わりがはっきりしており、人物の言動がいきいきと描写されているので、児童はちいちゃんに感情移入しやすく、豊かに想像することができると思われる。ひとりぼっちになったちいちゃんの悲しさや恐怖、また、ちいちゃんの家族に会いたいという願いを読み取ることを通して、命の尊さや平和の大切さを感じとることができる考える。

**○児童の実態について**

物語文が好きな児童が多く、意欲的に学習に取り組む児童が多い。「きつつきの商売」では、叙述をもとに想像を広げ、様子が伝わるように声に出して音読する姿が見られた。「三年とうげ」でも、楽しみながら場面ごとに登場人物の様子や心情を読み取ったりリズムよく音読したりする学習を行ってきた。どちらの学習も、登場人物の心情を吹き出しに書く活動を続けてきたので、気持ちの変化を読み取ったり、登場人物になりきって自分の考えや思いを表現したりすることができるようになってきた。しかし、自分なりの考えはもつものの、本文に照らし合わせて表現することはまだ不得手な児童もいる。また、話し合いの場面では、自信がないために発表を躊躇する児童や友達の発表を聞き自分の意見と比べながら話すことが苦手な児童もいる。

**○学校研究とのかかわり****・重点1：一人一人が主体的に学習を進め、学び方が身につくように授業作りを工夫する。**

児童が主体的に学習を進めることができるように、一時間ごとの課題を児童の初発の感想をもとにしながら一緒に設定する。また、児童が授業の始めに同じ土台に立てるように、課題に対する一人学習の時間を設け、自分の考えをもつ時間を確保していく。その際、叙述を意識させるために、様子や気持ちが表示されている部分に線を引いたり音読したりするようにし、そこから自分の言葉で表現するようにしていきたい。

また、活用力を育てるために、場面の様子やちいちゃんの心情の変化を掲示し、掲示を活用して前時とのつながりを考えながら課題を解決していくようにする。そして、授業の最後には叙述から読み取ったことをもとに想像を広げて吹き出しを書くことで、考えを深められるようにしたい。

さらに、第三次の音読発表会を単元全体の課題とし、読み取りの学習後に一番心に残った場面を選び、音読で伝え合う活動を設定する。会話の前後の言葉に着目して、場面の様子を想像しながら登場人物になりきって音読していくことで、戦争の悲惨な状況の中に生きているちいちゃん的心情を感じ取らせたい。

・重点2：一人一人が互いのよさを認め合い、学んだ喜びを実感できるように、評価と支援を工夫する。

話し合いの時間を多く取り、自分の考えと友達の考えを比べたり同じところを見つけたりしながら聞くよう促す。その時にネームプレートを用いて誰がどの考えをもっていたかを明らかにすることで、友達の考えのよさに気づかせるようにする。それらをもとに、振り返りカードでがんばっていた友達を『今日のきりりさん』として書くようにすることで、友達の意見を聞くことが自分の学習にもつながることに気づかせたい。また、自己評価も行ったり、吹き出しを紹介したりすることで、一時間ごとの自分のがんばりに気づき、次時への意欲につながると考える。

4. 学習計画（総時数12時間）

次	ねらい	主な学習活動	◎評価規準 (評価方法) ◇支援	関・意・態	読むこと	言語事項
第一次学習計画を立てる(三時間)	・全文を読み、学習の見通しをもつ。	〈ちいちゃんのかげおくりを読んだ感想を書こう〉 ○心に残ったことをわけも考えて書き、紹介し合おう。 ・ちいちゃんが家族と離れてひとりぼっちになって死んでしまっかわいそう。 ・戦争はすごくこわい。今の日本は平和でよかった。私たちは幸せだ。	◎心に残ったことについて、自分なりの感想を書いている。(発言・ノート) ◇なかなか進まない児童には、どの場面が印象に残っているかを個別に聞く。			
		〈どんなお話があらすじをつかもう〉 ○全文を読んで、あらすじをつかもう。 ・家族でかげおくりをしているよ。 ・戦争が激しくなってしまったよ。 ・ちいちゃんは死んでしまったよ。	◎全文を読み、大まかなあらすじをつかんでいる。(発言) ◇叙述や挿絵を参考に考えるよう促す。		○	○
		〈自分たちで課題を考えよう〉 ・家族みんなでかげおくりをしたときのちいちゃんの気持ちを考えたいな。 ・お母さんとはぐれたときのちいちゃんの気持ちを考えたいな。 ○学習の見通しをもとう。 ・場面ごとに読んでいこう。 ・音読発表会ではちいちゃんになったつもりで読みたいな。	◎学習課題を立てる話し合いに進んで参加している。(発言) ◇友達の意見を聞きながら、学習課題について考えるよう促す。		○	
		場面の様子やちいちゃんの気持ちを考えよう 気持ちをこめて音読発表会をしよう				

<p>第二次 情景や登場人物の心情を読み取る(七時間)</p>	<p>・挿絵や叙述から、場面の様子や登場人物の心情を想像して読むことができる。</p>	<p>〈一人学習で課題について考えよう〉(2)</p> <p>○大事な言葉や文に線を引いて、自分の考えをノートに書こう。</p> <p>・記念写真と書いてあるから、家族と一緒にするかげおくりがすごく楽しかったと思うな。</p> <p>・たくさんの人たちと眠るのは、不安で怖かったと思うな。</p>	<p>◎意欲的に課題に対する自分の考えを書いている。 (ノート)</p> <p>◇個別に大事な言葉や文はどれか聞くようにする。</p>				○
		<p>〈家族みんなでかげおくりをしたときの気持ちを考えよう。〉</p> <p>・初めてかげおくりをして楽しかったよ。</p> <p>・みんなでかげおくりができてよかったな。</p> <p>・お父さんがいなくなる前の日だから、記念写真と言ったんだと思うよ。</p>	<p>◎仲良くかげおくりをする家族四人のそれぞれの気持ちや様子を読み取っている。 (発言・ワークシート)</p> <p>◇出征の前の日ということにも目を向けさせる。</p>				○
		<p>〈お母さんとはぐれたときのちいちゃんの気持ちを考えよう。〉</p> <p>・熱いよ。こわいよ。</p> <p>・お母ちゃんどこにいるの。</p> <p>・ひとりぼっちで眠るのは寂しいしこわいよ。</p>	<p>◎空襲の様子とそのときのちいちゃんの気持ちを読み取っている。 (発言・ワークシート)</p> <p>◇自分だったらどう思うかと問いかける。</p>				○
		<p>〈ひとりぼっちになったときのちいちゃんの気持ちを考えよう。〉(本時)</p> <p>・家が焼け落ちてしまっって悲しいよ。</p> <p>・一人でもここで帰ってくると信じて待っているよ。</p> <p>・お母さんとお兄ちゃんは絶対戻ってきてくれるはずだよ。</p>	<p>◎変わってしまった町の様子を想像したり、家族を待ち続けるちいちゃんの気持ちを読み取ったりしている。 (発言・ワークシート)</p> <p>◇話し合いや板書を参考にするよう助言する。</p>				○
		<p>〈一人でかげおくりをしたときのちいちゃんの気持ちを考えよう。〉</p> <p>・一場面のときとは違って、ちいちゃんは一人大から寂しいよ。</p> <p>・家族に会えたから、きらきらわらってうれしそうだよ。</p> <p>・でもちいちゃんは死んじゃったよ。</p>	<p>◎ちいちゃんが一人でかげおくりをする様子を、一場面と対比しながら読み取っている。 (発言・ワークシート)</p> <p>◇「白い四つ」「たったひとつ」など対比している表現を探すよう促す。</p>				○
	<p>〈何十年後の町の様子はようになったか考えよう。〉</p> <p>・前より家がいっぱい建ってるよ。</p> <p>・戦争が終わって平和になったんだ。</p> <p>・戦争はいろいろなものを奪ってしまうな。</p>	<p>◎現在の公園の様子を想像し、ちいちゃんが戦争で奪われたものを考えている。</p>					○

		<p>・ちいちゃんが生きていたら、ぼくたちみたいに幸せに暮らせたろうな。</p>	<p>(観察・ワークシート) ◇ちいちゃんがこの公園に いることができたかと考 えてみるようにする。</p>			
<p>第三次 音読発表会をする(二時間)</p>	<p>・これまで学習してきたことをもとに、読み方を工夫して音読発表会をすることができる。</p>	<p>〈心に残った場面を選び、読み方を工夫しよう。〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族みんなで楽しくかけおくりをする場面が読みたいな。</li> <li>・ひとりぼっちになった場面を読みたいな。</li> <li>・強さや速さや会話文を工夫するといよいよ。</li> </ul>	<p>◎心に残った場面を選び、場面の様子が分かるように意欲的に読もうとしている。 (観察) ◇友達のグループの読み方を紹介し、どんな工夫があるか示す。</p>			○
		<p>〈友達のよいところを見つけながら聞こう。〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のグループの工夫を見つけるぞ。</li> <li>・場面に合った読み方を工夫して読むぞ。</li> <li>・ちいちゃんの気持ちを考えながら読んでいるな。</li> <li>・声の大きさや読み方も場面に合っているな。</li> </ul>	<p>◎心に残った場面の様子を聞き手を意識して工夫して読んでいる。 (観察・ワークシート) ◇練習の中でよさを認めることで、自信をもって発表できるようにする。</p>			○

## 5. 本時の学習（第二次の5時）

### (1) ねらい

町の様子を想像したり、家族を待ち続けるちいちゃんの気持ちを読み取ったりすることができる。  
(読むこと)

### (2) 活用力を育てるために

・場面の様子やちいちゃんの心情の変化を叙述や友達の考えをもとに読み取り、想像を広げて吹き出しを書くことで考えをまとめられるようにする。

### (3) 準備 挿絵, ワークシート, 自己評価カード

### (4) 展開

学習活動	配時	予想される児童の意識の流れ	◎評価と◇支援
1. 前時の振り返りをする。	3	○前時の学習をふり返ろう。 ・空襲警報が鳴って、赤い火があちこちに上がっていたよ。 ・ちいちゃんはお母さんとお兄ちゃんとはぐれて、ひとりぼっちになってしまったよ。 ・たくさんの人たちの中で眠っているとき、ちいちゃんはすごく寂しかったし怖かったよ。	・前時の場面をふり返り、ちいちゃんがひとりぼっちになってしまったときの様子や心情を確認する。
2. 課題について話し合う。	25	〈ひとりぼっちになったときのちいちゃんの気持ちを考えよう。〉 ○町の様子はどのようにすっかり変わったのだろう。 ・まだ、あちこちにけむりが残っているよ。 ・どこがうちなのか分からなくなってしまっていたよ。 ・ちいちゃんの家が焼け落ちて、部屋もなくなっていたよ。 ○はす向かいのおばさんに会えたとき、ちいちゃんはどんな気持ちだったのだろう。 ・知っている人に会えて手をつないでくれてほっとしたよ。 ・「泣くのをこらえて」と書いてあるから、本当は泣きたいけれど、我慢して答えたと分かったよ。 ・「また深くうなずきました」とあるから、お母ちゃんとお兄ちゃんは絶対ここに帰ってくると信じているよ。 ・「お母ちゃんたちはきっと帰ってくるよ」とあるから、一人でもさびしいけど待っているよ。	・場面の様子を想像しながら音読するよう伝える。 ・会話文や場面の様子を表す言葉に着目して、ちいちゃんの置かれた状況を想像するよう促す。 ・叙述をもとに発言するよう声をかける。 ・おばさんに会えて安心したのに、なぜ「深くうなずいた」のかと補助発問し、ちいちゃんの願いに気づかせる。
3. 学習のまとめとふり返りをする。	12	○防空壕の中にひとりぼっちでいるちいちゃんの気持ちを吹き出しに書こう。 ・一人は寂しいけれど、お母ちゃんとお兄ちゃんはきっと帰ってきてくれるよ。 ・我慢してここにいれば、絶対お母ちゃんたちに会えるよ。	◎変わってしまった町の様子を想像したり、家族を待ち続けるちいちゃんの気持ちを読み取ったりしている。 (発言・ワークシート)
4. 次時の学習について知る。	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     家は焼けてしまったけれど、お母ちゃんとお兄ちゃんはきっとこの場所に帰ってきてくれると信じて待っているよ。                 </div> ○今日の場面を音読しよう。 ○一人がかげおくりをするちいちゃんの気持ちを考えていこう。	◇なかなか書けない児童には、話し合いの様子や板書を参考にするよう助言する。 ・学習を振り返り、次時の学習への意欲づけをする。